

総会后におけるコミュニティバスの準備状況～運行全般チームからの報告 便利なまちづくり

総会后における取り組み



SDGs17の目標の一つです

柏ビレジにおけるコミュニティバスの運行計画は、今年度の自治会総会で、その推進について付帯条件付きながら住民の皆様にご承認いただき、来年4月の運行開始を目指して鋭意その取組を進めているところです。コミュニティバスの継続的な運行は、「SDGs(持続可能な開発目標)～住み続けられるまちづくり」の一助となるものであり、住民の力を結集して是非実現したいと思っています。行政からの大きなご支援とともに、近隣町会との連携も実現し、独自の仕組み作りを目指しています。

実現に向け必要な住民によるご支援

最終的な運行ルートや運行日、運行時間、運行本数など、具体的な運行計画の確定までにはもう少し時間を要しますが、このコミュニティバスは柏ビレジを中心に、田中地域・花野井地域全体の「住民の足」として定着させることを目指しています。その実現に向けては克服しなければならない課題は多々ありますが、その一つにコミュニティバスの安定的な運行に向けての住民の方々の強力なご支援取付けがあります。昨年11月の実証実験時に設定した当初の予算額から大幅に削減した現時点での試算では、コミュニティバスの運行には週3日の運行でも年間約1千万円の運行費用がかかります。そのため、この運行コストを賄うためには、多くの住民にコミュニティバスを利用していただくことが欠かせません。一人でも多くの方々に、乗り放題で乗車できる半年/年間パスポートや回数券をご購入いただき、運行コストの多くを賄いたいと考えています。

個人や企業、法人によるご支援

更に、コミュニティバスを利用しない住民の方々にも、今後、高齢化が進み免許返納に伴う移動手段の必要性を実感いただく前に、今回の柏ビレジの趣旨にご賛同願ひ、可能な範囲でご支援いただければと考えています。具体的な支援方法としては、拠出金額1口1,000円(何口でも可)の支援金をお願いするつもりです。なお、その方には、支援金額相当分の回数券をお渡しするつもりです。また、合わせて柏ビレジと関わりのある企業、法人の方々にも、地域との関係強化、地域貢献にご賛同、ご協力をいただきたいと考えています。具体的には、協賛金は1口10,000円(何口でも可)として、今後の継続的なご支援・ご協力をお願いするものです。



コミュニティバス誕生に向け温かいご支援を

住民参加による支援組織の立ち上げ



住民の力を結集して実現させましょう

また、上記の支援金以外にも、コミュニティバスの運行が実現できるよう住民参加による支援組織の立ち上げも必要です。今後の継続的な運行を実現するためには、住民の方々のご意見・ご要望を反映する機会や場の設置は欠かせません。具体的な体制づくりは今後の課題となりますが、自治会、ビレジ内の諸団体、住民の方々等にご協力いただきながら組織化を図っていきたく考えています。

住民の皆様には、柏ビレジの置かれている厳しい環境や課題についてご理解いただき、コミュニティバスの持続可能な運行実現に向けての支援金や支援組織づくりへのご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、コミュニティバス運行全般について検討を進めている上記タスクメンバーは、コミュニティバスの早期かつ持続可能な運行を実現すべく、今後とも全力で取り組んでまいります。

柏ビレジコミュニティバス～来年春の本格運行に向けて 便利なまちづくり

基本準備期間 (2023年6月～8月)

柏ビレジランドデザイン推進プロジェクトリーダー 交通タスクリーダー 大野 達雄

本年5月の柏ビレジ年次総会から早くも4か月以上が経過しました。私たち未来まちづくり協議会・交通分科会のタスクメンバーは、総会決議の結果を受け、早速、活動を再開しました。6月～8月を基本準備期間として位置づけ、昨年11月の実証実験とその直後に実施したアンケート結果から抽出したさまざまな課題の洗い出し作業から着手。しかし、その見直し対象も「運行ルート」、「バス停」、「運行日」、「時刻表」、「PR方法」、「IT化」、「収支案作成」、「役割分担」など多岐にわたりました。

その中でも、特に悩んだのが見直し作業から本格運行開始までの「スケジュール」作りでした。本格運行開始から逆算して、「大幅な予算減の中、利便性をできるだけ損なわず、運行サービスを実現するために必要な期間とは?」と、タスクメンバー全員で検討した結果、10ヵ月間のスケジュールで進めることとなりました。しかし、限られた人数で、月1回2時間の定例会議では、十分な議論が難しいため、担当分野に応じて、チームまたは個別に作業を進めることとなりました。メンバーの皆さんには大変なご苦労をおかけしてしまいましたが、各位の積極的なご協力のおかげで、3ヵ月間という短期間で本格運行に向けての新たな基本案を作成することができました。

プロモーション期間 (2023年9月～12月)

運行全般に関する基本案が固まった段階で、住民への説明会に先立ち、自治会役員、支部長、相談役に進捗状況について報告しました。また、今回、柏市からの要望もあり、コミュニティバスの運行ルート沿いの地域に関係する田中ふるさと協議会会長や近隣町会長、吉田記念テニス研修センター(TTC)の責任者に対しても同様の説明会を実施しました。こうしたさまざまな説明会を通していただいた貴重なご意見・ご提案を踏まえ、絞り込まれた課題をタスクチームで議論を重ねた結果、本紙に掲載した「チラシ案」の内容に集約されました。

実施可否検討期間とその後の予定 (2024年1月～4月)

今後、柏ビレジ及び近隣地域の住民説明会を11月以降に順次実施していく予定です。その席でバス利用を希望する皆様には、期間中乗り放題でご利用いただける「半年/年間パスポート」の事前予約申込書*をお渡します。これを指定の期日までにお申し込みいただくことで、割引料金にてご購入いただける仕組みです。(※説明会へのご参加が時間の都合などで難しい方は、別途、自治会・事務局などに申込書をご用意させていただく予定です。) その結果、以下の「本格運行に向けたスケジュール案」のとおり、年末までの予約申込件数や企業、店舗、個人の皆様からの寄付金などを加えた集計結果で、総会でお約束した「運賃の見込み額が運行コストをカバーできるか否か」を最終判断します。そして、その結果を年明けの1月に、住民の皆様にご発表させていただく予定です。来年春のコミュニティバスの本格運行実現に向け、皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

本格運行に向けたスケジュール案 (抜粋版)

Table with 10 columns (2023年6～8月, 9月, 10月, 11月, 12月, 2024年1月, 2月, 3月, 4月) and 3 rows (段階, スケジュール, 主な内容). It details the timeline from basic preparation to implementation, including promotional activities and feasibility checks.